

総合型選抜 自己アピール選抜(活動実績型) 受験体験記

Q 総合選抜型（自己アピール選抜）で受けてみようと思ったのはなぜですか。

私は、高校3年間でたくさんの経験をし、自分の強みを発見しました。それらを存分にアピールできると思ったからです。

Q 自己アピールで取り上げたことは何ですか。

弁論大会に出場したことや学校内に放送部を立ち上げたこと、職場体験などです。それぞれの経験から、コツコツと努力できることが自分の長所だと気づき、そこから歴史を学ぶ上で大切にしたいこと、たとえば歴史と地道に向き合うことや様々な資料から一つの事柄を見つめること、あるいは歴史を学ぶ際、自分の障害を補う別のやり方を探してみるなど、新たな気づきにつながりました。こうした経験や意欲をアピールしたいと思いました。

Q プレゼンテーションの準備はどうしましたか。

家族や高校の先生に聞いてもらい、アドバイスをもらって文の組み立てや話し方、速度や間の取り方などを調整し、聞いている人に分かりやすいプレゼンテーションになるように何度も練習しました。

Q 歴史文化学科ではどんなことを学んでいきたいですか。

考古学コースに進んで、土器などの遺物に触れながら学びを深めていきたいです。特に調査技術を身につけたいと思います。

Q 受験生へのアドバイスをお願いします。

自己アピール選抜は、高校生活の中で目標を持って物事に取り組み、そこから自分の強みや新たな気づきを見出した人に向いていると思います。プレゼンテーションは何度も練習するのがポイントです。**練習を重ねると自信がつき、しっかりと自分をアピールできる**と思います。

光川千晶さん
(2024年入学、奈良県立盲学校)



自己アピール選抜（活動実績型）の詳細は事前に入学課にお問い合わせください。

Tel. 0743-63-9004, 62-2164 Fax 0743-63-7368
mail: nyushi@sta.tenri-u.ac.jp



歴史文化学科HP



天理大学情報試サイト

Q 総合選抜型（自己アピール選抜）で受けてみようと思ったのはなぜですか。

自分なりの方法で自分自身をプレゼンできるのがとても良いと思ったのと、「自分はどうなりたいのか」「それをどう相手に伝えるか」を考えるきっかけになったからです。

Q 自己アピールで取り上げたことは何ですか。

高校時代、ダンス部で様々な舞台を経験し、ベストインプレッション賞をいただいたことを取り上げました。部活での経験を通して、自分の長所をアピールしたいと思ったからです。

Q プレゼンテーションの準備はどうしましたか。

話す内容や話し方など、家族からアドバイスももらいながら練習しました。プレゼンの際にイラストボードを使用しましたが、文字やイラストなどを工夫するのに苦労しました。

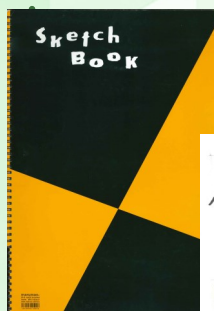
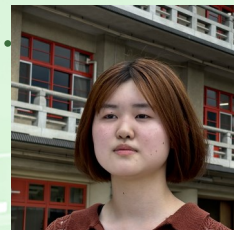
Q 歴史文化学科ではどんなことを学んでいきたいですか。

民俗学コースに進み、フィールドワークなどの課外授業を通して民俗学の面白さを学んでいきたいと思っています。

Q 受験生へのアドバイスをお願いします。

上手く話そうとする必要はないと思います。それ以上に「ここで学びたい!」という**強い意志をもって素直な思いを話す**ことがとても大切なことだと思います。

村松真那香さん
(2024年入学、桜花学園高等学校)



広がった自分の可能性



三年間での
経験と学び
奈良県立盲学校
高等部普通科三年
光川千晶

① 弁論大会



光川千晶さんのプレゼンテーション資料

総合型選抜・自己アピール選抜（活動実績型）の受験について

自己アピール選抜（活動実績型）の「**実績の該当基準**」には、（A）文化・芸術・スポーツ活動、（B）リーダーシップ・サポート、（C）資格・検定保有、（D）ユニーク性、（E）その他の分野、の5つがあり、多様な分野での実績を認めています（『2025入試ガイド』p.10）。

一方、歴史文化学科の**アドミッションポリシー**には①～⑦の7項目あり、⑦では、**社会活動・課外活動などの分野で積極的に取り組んだ経験を有し、歴史に関心がある人**、としています（『2025入試ガイド』p.65）。自己アピール選抜（活動実績型）の対象は、おもにこの⑦にあたります。歴史文化学科ですから、歴史の学びを活かして活動してきたみなさんが受験して下されば、大変うれしく思います。しかし、それ以外の課外活動・社会貢献などであっても、「歴史文化」を学び、自分が取り組んできた活動とあわせて将来に活かしていこうという意欲あるみなさんも大歓迎です。このアドミッションポリシーを理解したうえで、プレゼンテーションに取り組んでほしいと考えています。

これまで、プレゼンテーションの骨子をスケッチブックに記す、あるいはパワーポイントで作成して面接に臨んだ受験生がいます。探究型授業などでプレゼンテーションをした経験があれば、それほど難しいことではないでしょう。天理大学への入学への意欲、勉学の姿勢が大切で、プレゼンテーションのテクニックの優劣を問うわけではありません。スケッチブックやパワーポイントを使わなければならないというわけではありませんが、どのように受験に取り組んできたのかは評価点になります。

なにはともあれ、最後は、

「天理大学で歴史文化を学びたい」

そんな熱意あるみなさんが歴史文化学科に入学してくれることを望んでいます。



天理大学附属天理参考館

自己アピール選抜（活動実績型）の詳細は事前に入学課
にお問い合わせください。

Tel. 0743-63-9004, 62-2164 Fax 0743-63-7368

mail: nyushi@sta.tenri-u.ac.jp



歴史文化学科HP



天理大学入試情報サイト